(第一面)

**鉄骨工事施工状況・施工結果報告書**

　　　年　　　月　　　日

　　　　　　　建築主事　様

　　　　　　　　　　　　　　　　報告者(建築主)住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

　下記建築物について、建築基準法第１２条第５項の規定により施工状況・施工結果報告書を提出します。なお、この施工状況・施工結果報告書及び添付図書に記載の事項は事実に相違ありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作成者 | 工事監理者 | (　　　)級建築士　　　（大臣・知事）登録　第　　　　　　　　　号(　　　)級建築士事務所（　　　　　）登録　第　　　　　　　　　号住　　所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL(　　　　)-(　　　　)-　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 工事施工者 | 施工者名　　　　　　　　　　　　　　建設業許可(特定･一般)　　　第　　　　　　号住　　所 　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL(　　　　)-(　　　　)-　　　　代 表 者 |
| 設　計　者 | ( )級建築士(大臣･知事)登録第　　　　号 ( )級建築士事務所(　　　)登録第　　　号住　　所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL(　　　　)－(　　　　)－　　　氏　　名 |
| 第三者検査機関等（接合部の受入検査） | 受入検査機関等の名称住　　所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL(　　　　)－(　　　　)－　　　代表者名検査員資格・氏名 |
| 検査技術者（溶接部以外の受入検査） | 所　　属住　　所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL(　　　　)－(　　　　)－　　　検査員資格・氏名　　　　　　　　　　　　　　　資格　建築鉄骨製品検査技術者　　　（登録番号　　　　　　　　　　　　）　　　　建築高力ボルト接合管理技術者（登録番号　　　　　　　　　　　　） |
| 鉄骨加工工場 | 名　　称　　　　　　　　　　　　　　　　建設業の許可(　　　　)登録第　　　　 号 |
| 住　　所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL(　　　　)－(　　　　)－　　　 |
| 代表者名 |
| 工場ランク(参考) | (　Ｓ　・　Ｈ　・　Ｍ　・　Ｒ　・Ｊ　)その他( 　) |
| 溶接管理責任者 | 所属 　氏名　　　　　　　　資格　　　　　　　 |
| 検査責任者 | 所属 　氏名　　　　　　　　資格　　　　　　　 |
|  | 社内検査 | 社内検査部門 | 所 属 部 署 |
| 検査員資格・氏名 |
| 外　注 | 外注検査機関名称　　　　　　　　　　　　　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　 |
| 住 所 |
| 検査員資格・氏名 |
| 建築物の概要 | 工 事 名 称 |  |
| 確認済証番号 | 　　　年　　　月　　　日　　　　　第　　　　　　　　　　　号 |
| 建 築 場 所 |  |
| 用　途　等 |  |
| 工 事 概 要 | 工事種別 | 　新築　・　増築　・　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 構　　造 | ・Ｓ(　　　階～　　　階)・ＳＲＣ(　　　階～　　　階)･他(　　　　　　) |
| 架構方式 | 桁行方向：　ラーメン　・ブレース・他(　　　　　　　　　　　　） | 梁間方向：　ラーメン　・ブレース・他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 階 数 等 | 地上：　　　　　　　階　地下：　　　　　　　階　ＰＨ:　　　　　　　階 |
| 軒高：　　　　　　　ｍ　最高高さ：　　　　　　　ｍ |
| 面　　積 | 建築面積:　　　　　　　　　　㎡　延べ面積:　　　　　　　　　　㎡ |
| 確認済証交付後の計画変更確認申請 | 変更:　　有　･　無変更内容 |
| 計画変更確認番号・年月日 | 　　　年　　　月　　　日　　　　　　第　　　　　　　　　　　号 |
| 　　　年　　　月　　　日　　　　　　第　　　　　　　　　　　号 |

（第二面）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 鉄骨工事の概要 | 構造耐力上主要な部分に使用した鋼材等の種類及び使用重量 | 使用部位 | 鋼材の種類 | 使用重量 |  |
| 柱 |  | ｋN |
| 大梁 |  | ｋN |
| 小梁・間柱 |  | ｋN |
| その他(　　　　　　 ) |  | ｋN |
| 高力ボルトの種類及び接合方法 | HTBの種類 | 使用するHTBの径 | 接合方法 | 締付け方法 |
| トルシア型 | S10T　　・径　　　M | 摩擦・引張 | □トルクコントロール法 |
| JIS型 | F10T　　・径　　M | 摩擦・引張 | □トルクコントロール法□ﾅｯﾄ回転法 |
| 溶融亜鉛メッキ | F8T 　　・径　　M | 摩擦 | □ﾅｯﾄ回転法 |
| 接合面の処理 | μ=0.45 | 母材 | スプライスPL |
| μ=0.40 | 母材 | スプライスPL |
| 溶接継目の部位・鋼材の種類・溶接材料及び溶接の種類 |  | 部　　位 | 鋼 材 の 種 類 | 溶接材料(ワイヤ等) | 溶接の種類 |
| 工場溶接 | 柱 |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
| ダイヤフラム |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
| フランジ大梁 |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
| ウェブ大梁 |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
|  |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
| 現場溶接 | 柱　－　梁 |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
| 柱　－　柱 |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
| 梁　－　梁 |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
|  |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
|  |  |  | 突合せ ・ 隅肉 |
| 添付図書 | □鋼材及びボルト等の規格証明書　□ボルト類の強度試験報告書　（裏書きミルシート）　　　　　□高力ボルト現場軸力導入試験報告書 |
| □鋼材等の流通経路を示す書類　　□高力ボルト締付け検査報告書 |
| □溶接部の検査報告書 |
| 　（外観・超音波探傷） |
| 記入上の注意 | ①鉄骨工事の概要は、設計図書と整合の上必要な事項をご記入下さい。また高力ボ　ルトの種類等は、該当するものを○印で囲み、該当する締付方法の□にしるしを　付けて下さい。②この報告書に記載しきれない事項については、別紙にまとめて下さい。③添付図書の欄は、添付しているものについて□内にしるしを記入して下さい。④添付図書の各種検査結果は、できるだけ一覧表にまとめて下さい。 |

　※　ミルシート、超音波探傷等の試験結果等の添付図書を工事監理者や工事施工者の控え書類で提出する場合、担当者に申し出て下さい。検査終了後に返却致します。

（　第　三　面　）

鉄骨加工工場及び工事現場における試験・検査等の結果報告

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **検 査 等 の 項 目** | **実施した試験・検査等の方法**(実施した項目チェック) | **検 査 等 の 実 施 年･月･日** |
| **社内検査** | **受入検査** |
| **鉄骨加工工場** | **工事施工者** | **工事監理者** | **検査機関等** |
| **工　場　製　作　時　に　お　け　る　検　査　等　の　実　施　状　況** | 鉄骨製作要領書・工作図 | □設計図書との整合□図書審査 |  |  |  |  |
| 溶接方法 | □製作要領書審査□承認試験 |  |  |  |  |
| 溶接技能者 | □資格証の確認□溶接条件と資格の適合□技量確認試験（実施・他工事資料参考） |  |  |  |  |
| 使用鋼材の受入検査 | □ミルシート確認□立会検査　□鋼材判別機器　　　□材質試験　　□（　　　　　） |  |  |  |  |
| 使用材料・製品等の受入検査（高力ボルト・スタッド他） | □ミルシート確認□製品確認　□立会検査□（　　　　　　　） |  |  |  |  |
| 現寸検査等 | □テープ合わせ□床上現寸図　□工作図審査　□定規・型板検査□（　　　　　　　） |  |  |  |  |
| 切断後の鋼材材質の確認 | □マーキング確認□切板発注指示書確認□確認試験□（　　　　　　　） |  |  |  |  |
| **組立検査** | □開先形状・角度□ルート面・ルート間隔　□肌すき・食い違い　□仕口部のずれ□裏あて金・エンドタブ□スカラップ工法□スカラップ形状・寸法□仮付け溶接□内ダイヤフラムの取付け | □目視□溶接ゲージ□スケール |  |  |  |  |
| ★以下の項目は２節目以降の組立検査時に確認する□予熱の方法と管理方法の確認□予熱温度チェック□パス間温度、入熱量の管理方法の確認と管理の結果 | □製作要領書の確認□温度チョーク□（　　　　　） |  |  |  |  |
| □ボルトの孔径□孔心・孔間隔のずれ□摩擦接合面の確認 | □目視□ゲージ |  |  |  |  |
| **鉄骨製品の受入検査** | **部材の精度** | □部材の社内検査実施状況の確認 | □製品の社内検査報告書確認 |  |  |  |  |
| □部材表面検査　□部材寸法検査□取合い部検査　□スタッド溶接検査□高力ボルト締め付け検査□スラグ、スパッターの除去□（　　　　　　　） | □目視□ゲージ□スケール□打撃曲げ試験 |  |  |  |  |
| **溶接部の品質** | □外観検査（精度・表面欠陥）□超音波探傷検査（内部欠陥） | □目視□溶接ゲージ□スケール□超音波探傷試験□（　　　　　　） |  |  |  |  |
| **社内検査結果のまとめ** | □溶接部の社内検査報告書の確認社内検査を実施した者の所属・資格・氏名 （　　　　　　　　　　　　　　　　　） | **受入検査結果のまとめ** | □第三者検査機関による溶接部の受入検査報告書確認□契約書等確認、検査を実施した者の所属・資格・氏名(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 )□工事監理者が指定した「技術者」による代行検査報告書の確認、「技　術者」の所属・氏名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| １全数検査（検査数　　　合格数　　　合格率 　　　）（不合格部の補修箇所　　　補修方法　　　　　　 ）２抜き取り検査の場合は、次の項目を記載して別に報告　書を添付する。･検査ﾛｯﾄの構成方法･抜き取り方法･抜き取り率･検査数・不合格箇所数・検査ﾛｯﾄの合否判定・補修方法等 | 1 抜き取り検査の場合は、次の項目を記載して別に報告書を添付する。・検査ロットの構成方法・抜き取り方法・抜き取り率・検査数・不合格箇所数・検査ロットの合否判定・補修方法等2 全数検査（検査数　　　　　合格数　　　　　　合格率　　　　　）（不合格部の補修箇所 補修方法　　　 　 ） |
| **不具合の処置及び****検査結果の考察** |  |
| **現　場　工　事　時　に　お　け　る　検　査　等　の　実　施　状　況** | 鉄骨工事施工要領書 | □設計図書との照合□図書審査 |  |  |  |  |
| 溶接方法 | □製作要領書審査□承認試験 |  |  |  |  |
| 溶接技能者 | □資格証の確認□溶接条件と資格の適合□技量確認試験（実施・他工事資料参考） |  |  |  |  |
| 使用材料・製品の検査（高力ボルト等） | □ミルシートの確認□現場軸力導入試験□（　　　　　　　　　　　　） |  |  |  |  |
| **柱脚部** | □柱据付け面の状況□ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの据付け状況□露出型固定柱脚の施工状況□( ) | □設計図書との照合　□レベル□スケール　　　　　□柱脚メーカーの仕様図との照合□(　　　　　　　　　　　　) |  |  |  |  |
| **建て方** | □建入れ直し □仮締めボルト□倒壊防止措置□建て方精度□（ 　　　 　　　 ） | □施工要領書等との照合□目　視　　　　□スケール□下げ振り |  |  |  |  |
| **ボルト工事** | □摩擦接合面の確認□食い違い・肌すき検査□一次締め後全数マーキン グ □本締め検査□共回り・締め忘れ検査 | □目　視　　　□ゲージ□（　　　　　　　） |  |  |  |  |
| **溶接工事** | □作業環境等□予熱の実施状況□ルート間隔□食い違い・仕口部のずれ□エンドタブ、裏当て金の　施工状況 | □施工要領書等との照合□温度チョーク 　　□目　視□溶接ゲージ□スケール |  |  |  |  |
| □溶接部の外観検査（精度・表面欠陥）□超音波探傷検査□（　　　　　　　　　　） | □目　視　　□溶接ゲージ□スケール□超音波探傷試験□（　　　　　　） |  |  |  |  |
| □合成スラブの施工状況（スタッド、焼き抜き栓溶接等） | □目　視　　　□ゲージ□打撃曲げ試験□デッキプレート等メーカー仕様図との照合 |  |  |  |  |
| **社内検査結果のまとめ** | 社内検査　□実施　□省略　□溶接部の社内検査報告書の確認  社内検査を実施した者の所属・資格・氏名 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | **受入検査結果のまとめ** | □第三者検査機関による溶接部の受入検査報告書確認□契約書等確認、検査を実施した者の所属・資格・氏名　(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　)□工事監理者が指定した「技術者」による代行検査報告書の確認、「技術者」所属・氏名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| １全数検査（検査数　　　合格数　　　　 合格率 　　　）（不合格部の補修箇所　　　　補修方法　　　　　　　　）２抜き取り検査の場合は、次の項目を記載して別に報告書を　添付する。 ・検査ロットの構成方法･抜き取り方法･抜き取り率･検査数・不合格箇所数・検査ﾛｯﾄの合否判定・補修方法等  | 1 抜取検査の場合は、次の項目を記載して別に報告書を添付する。・検査ロットの構成方法・抜き取り方法・抜き取り率・検査数・不合格箇所数・検査ロットの合否判定・補修方法等2 全数検査（検査数　　　　　合格数　　　　　　合格率　　　　　）（不合格部の補修箇所 　 補修方法 　 　　 　　 　 ） |
| **不具合の処置及び検査結果の考察** |  |